

デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）令和5年度実績

事業名	世界ラリー選手権（WRC）をいかした三河・東濃地域の山村及び産業振興に向けたまちづくり事業			担当課	ラリーまちづくり推進課		
事業の概要・目的	日本で初めて地方自治体が主体となって世界ラリー選手権（以下「WRC」）を開催し、愛知県豊田市及び岐阜県恵那市を中心とする三河・東濃地域で官民が連携して「ラリーをいかしたまちづくり」を進め、山村振興と産業振興を図る。						
交付金を充当する事業経費	1 WRC 継続開催による地域活性化事業 ・ WRC 競技費 111,111,111 円 ・ イベント開催・チケット販売料等 127,326,389 円 2 WRC 開催とそのインパクトを生かした地域活性化事業 ・ 都市部及び山村部での賑わい事業費等 5,590,278 円 3 クルマを安全・安心に楽しめ、環境問題の解決に寄与する事業 ・ TGR ラリーチャレンジ開催支援 5,000,000 円 ・ 官民連携によるクルマを楽しめるまちづくりの推進 972,222 円						
総事業費	500,000,000 円	交付決定額	250,000,000 円	交付金充当経費	250,000,000 円	不用額	0 円
事業始期	令和5年4月			事業終期	令和6年3月		

K P I ①	豊田市及び恵那市における主な観光施設やイベントの年間観光入込客数	基準値	14,710,000 人	R5 目標値	15,330,000 人	実績値	12,748,226 人	達成状況	② (83.2%)
K P I ②	WRC やモータースポーツに関連するイベントの集客数（のべ人数）	基準値	—	R5 目標値	460,000 人	実績値	567,500 人	達成状況	① (123.4%)
K P I ③	WRC に関連するイベント開催における豊田市及び恵那市への経済波及効果	基準値	—	R5 目標値	43 億円	実績値	106 億円	達成状況	① (246.5%)
K P I ④	関連企業の自動車販売台数（登録車）	基準値	145 万台	R5 目標値	160 万台	実績値	162 万台	達成状況	① (101.3%)

※達成状況： ①達成⇒ 達成状況100%以上 ②概ね達成⇒達成状況70%以上 ③十分とは言えない⇒達成状況50%以上 ④未達成⇒達成状況50%未満

取組実績	検証・評価	令和6年度の取組の方向性	
<p>(概要・具体的な数値・回数も合わせて記載)</p> <p>豊田市が主催となり初めて WRC を開催した。この大会を契機に、各種プロモーションイベントの開催、地方ラリーの開催のほか、大会機運のためのまちなか装飾や交通安全や環境問題を学ぶラリー教室を開催した。</p>	<p>ラリージャパンの来場者満足度は 75.3%とまずまずの評価を得ることができた。一方で、大規模会場の豊田スタジアムには空席が目立ったことから、ラリーファンの裾野を拡大し、日本においてラリー文化を根付かせる取組を地道に行う必要がある。</p>	方向性	③継続実施（同規模実施）
		<ul style="list-style-type: none"> ・ラリーファンの裾野拡大に向け、ラリーカーの展示など各種 PR 活動を展開する。 ・WRC2024 の継続開催に向けた準備を進めるとともに、大会機運を盛り上げるため、ラリーをいかしたまちづくり事業を展開する。 	

※方向性： ①拡大して実施（事業内容・規模の拡大） ②改善して実施（事業内容改善、効率化、効果向上） ③継続実施（同規模実施） ④縮小 ⑤完了

デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）令和5年度実績

事業名	地域内経済循環創出に向けた SDGs「認証」制度の構築及び市民行動の促進			担当課	未来都市推進課		
事業の概要・目的	豊田市 SDGs 認証制度の構築・運用、SDGs 担い手育成事業（ローカル SDGs に関する理解促進ツールの制作及びそれを活用するファシリテーターの養成）、SDGs 情報発信事業（デジタルの活用等による地域・市民への訴求と活動の見える化）を行うことによって、地域事業者及び市民の SDGs 達成加速化、地域内経済の好循環創出及び持続可能な地域づくりをはかることを目的とする。						
交付金を充当する事業経費	1. 認証制度プロモーション及び「登録」から「認証」への移行サポート事業費 1,485,660 円 説明会・式典・個別支援 2. 認証審査・チェック委託（2023年運用開始後～）費 2,429,500 円 説明会／認証審査（書面審査・現地調査・ヒアリング等） 3. 人材育成「SDGs 担い手養成講座」 事業費 1,628,000 円 前年度に制作した理解促進ツール「とよた SDGs マスター」を使うファシリテーターを養成し、将来的には、市内各所での自律的な実施を目指す。 1 期につき 5 回の連続講座を実施（定員：60 人） 4. SDGs 関連イベント事業費 2,049,090 円 市民・パートナー参加型イベント、取組み PR 事業（展示会出展・理解促進ツール体験会等） とよた SDGs パートナーによる交流会・研修 5. とよた SDGs 推進プラットフォーム(情報発信) 構築・実証・実装 495,000 円 活動や成果の共有、ステークホルダーとの連携の見える化						
総事業費	8,087,250 円	交付決定額	5,000,000 円	交付金充当経費	4,043,625 円	不用額	956,375 円
事業始期	令和 5 年 4 月			事業終期	令和 6 年 3 月		

K P I ①	「経営力高度化事業補助金」の交付件数	基準値	0 件	R 5 目標値	100 件	実績値	103 件	達成状況	①
K P I ②	とよた SDGs パートナー「認証」団体数	基準値	0 件	R 5 目標値	50 件	実績値	87 件	達成状況	①
K P I ③	SDGs 関連イベント等参加者数（とよたエコフルタウン開催イベント含む） + SDGs 担い手育成講座受講者数	基準値	3,000 人	R 5 目標値	3,000 件	実績値	4,483 件	達成状況	①
K P I ④	パートナー連携 共働事業件数	基準値	10 件	R 5 目標値	10 件	実績値	21 件	達成状況	①

※達成状況： ①達成⇒ 達成状況 100%以上 ②概ね達成⇒達成状況 70%以上 ③十分とは言えない⇒達成状況 50%以上 ④未達成⇒達成状況 50%未満

取組実績	検証・評価	令和5年度取組の方向性	
<p>認証受付を2回実施、100事業者が参加。認証式典の開催等プロモーションも実施。担い手育成では体験会2回と養成講座3回を実施し、ファシリテーター56名を育成した。SDGsパートナー向け交流会では20名が参加し、子供向けSDGs啓発事業「SDGsミライ大学」には100名が参加。</p>	<p>認証制度、パートナー制度、啓発イベント等の各事業について計画どおり実施された。各KPIについては目標値を上回っており、順調に推移したと結論できる。特にとよたSDGsパートナーによる活動は活発に行われており、共働事業件数は目標値を大幅に上回っている。</p>	<p>方向性</p>	<p>②改善して実施（事業内容改善、効率化、効果向上）</p>
		<p>認証制度の更なる周知のため、多くの企業が集まる展示会等で認証式典を実施。 担い手育成では、担い手の自発的活動につながる研修内容へと養成研修内容を一部改善。</p>	

※方向性： ①拡大して実施（事業内容・規模の拡大） ②改善して実施（事業内容改善、効率化、効果向上） ③継続実施（同規模実施） ④縮小 ⑤完了

デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）令和5年度実績

事業名	映画を活かしたまちづくり事業			担当課	商業観光課		
事業の概要・目的	(1) とよたアニメシネマフェスティバル【アニメづくりはものづくりであることの体感を通したものづくり文化醸成】 (2) まちなか連携事業【アニメとのタイアップによるまちづくり事業とシティプロモーション】 (3) 映画（ものづくり）文化の醸成事業 (4) 映画作品と連携したまちなか回遊事業						
交付金を充当する事業経費	1 映画作品と連携したまちなか回遊事業 ・シネコン連携企画 1,000,000 円 ・神在月学校上映企画 720,000 円 2 映画文化の醸成事業 ・まちなか映画上映会 600,000 円						
総事業費	2,320,000 円	交付決定額	1,160,000 円	交付金充当経費	1,160,000 円	不用額	0 円
事業始期	令和5年5月			事業終期	令和6年3月		

KPI①	中心市街地の歩行者通行量	基準値	47,164 人／日	R5目標値	64,972 人／日	実績値	68,767 人／日	達成状況	①
KPI②	文化芸術に興味のある児童生徒の割合（小学生）	基準値	54.6%	R5目標値	72.3%	実績値	-	達成状況	-
KPI③	まちなか周遊事業の参加者	基準値	-	R5目標値	4,500 人	実績値	1,364 人	達成状況	④
KPI④	こども映画教室の参加者	基準値	-	R5目標値	50 人	実績値	0 人	達成状況	④

※達成状況： ①達成⇒ 達成状況100%以上 ②概ね達成⇒達成状況70%以上 ③十分とは言えない⇒達成状況50%以上 ④未達成⇒達成状況50%未満

取組実績	検証・評価	令和6年度の取組の方向性	
(概要・具体的な数値・回数も合わせて記載) 1 映画作品と連携したまちなか回遊事業 ・シネコン連携企画 映画作品と連携し、まちなかの主要施設を巡るクイズラリー、パネル展示、キャラクターの握手会を实	新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、イベントなどの回復が見られたが、令和4年度から開始した学校教育と連携した事業を継続した。具体的には、DVD（映画『神在月のこども』等の映像を収録）を申込みいただいた小中学校に無償貸出を実施。	方向性	⑤完了

<p>施し、まちなか回遊を図った。(期間 7/28~8/31 参加人数：1,364 人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DVD を小中学校に無償貸出しし、映画文化の醸成を図った。(上映：6校、視聴人数：598人) <p>2 映画文化の醸成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過去の名作等の映画作品を、公共施設で上映(上映日：9/3、1/7 会場：豊田市中央図書館 視聴者数：83人) 	<p>原作小説に小原地区が登場し、主題歌には、豊田市の小学生の手拍子やコーラスも含まれた豊田市に馴染みのある作品を活用した。2年目ということで、上映した学校数が減少したものの、モノづくりへの関心を高めるとともに、地域・歴史の学びを深め、WE LOVE とよたの醸成を図った。</p> <p>また、映画を活かしたまちづくり事業による映画作品との連携企画により、親子連れを中心に、まちなかの回遊が生まれたことは評価できる。</p>	
---	---	--

※方向性： ①拡大して実施(事業内容・規模の拡大) ②改善して実施(事業内容改善、効率化、効果向上) ③継続実施(同規模実施) ④縮小 ⑤完了

デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生拠点整備タイプ）令和5年度実績

事業名	若者の交流創造拠点整備事業				担当課	こども・若者政策課		
事業の概要・目的	青少年センターが若者の交流創造拠点となるように、1階サロンの空間を整備する。							
交付金を充当する事業経費	<p>【施設名称】 青少年センター</p> <p>【整備内容】 1階のサロン部分（約 241 m²）の床面タイルの一部貼り替えや照明器具の追加、柱巻き装飾の追加を行うことで、若者が活動成果を発表したり、寛げる空間を演出する。</p> <p>【事業経費】 9,757 千円（内訳） 978 千円（設計費） 8,779 千円（施工費）</p> <p>※効果促進事項</p> <p>【設備等名称】 大型テーブル及び椅子、展示パネル</p> <p>【整備内容及びその必要性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後青少年センターが実施する事業のうち、以下の事業に活用する。 ①若者活動支援事業として、1階サロン部のフリースペースを活用し、若者や登録団体の活動成果発表（ダンス発表会、作品展示等）を行う。 ②学生まちづくり講座や、学生団体の定例ミーティング等を1階サロン部の大型テーブルで実施し、その様子が多くの若者の目に触れることで、それらの講座への参加者数や社会参加バンクへの登録者を増やす。なお、大型テーブルには各席にコンセントを設け、ノートPCやスマートフォンの充電等のニーズに応えられるようにする。 <p>【備品購入】 2,288 千円（内訳） 1,540 千円（大型テーブル及び椅子） 748 千円（展示パネル）</p>							
総事業費	12,045,000 円	交付決定額	6,022,000 円	交付金充当経費	12,045,000 円	不用額	0 円	
事業始期	令和5年4月			事業終期	令和6年2月			

KPI①	整備施設を活用して交流した若者の延べ人数	基準値	0人/年	R5目標値	100人	実績値	210人	達成状況	①達成
KPI②	地域・社会活動に参加した高校生・大学生の延べ人数（市支援分）	基準値	2,386人/年	R5目標値	2,600人	実績値	3,363人	達成状況	①達成

※達成状況： ①達成⇒ 達成状況100%以上 ②概ね達成⇒達成状況70%以上 ③十分とは言えない⇒達成状況50%以上 ④未達成⇒達成状況50%未満

取組実績	検証・評価	令和6年度の取組の方向性	
1階のサロン部分(約241㎡)の床面タイルの一部貼り替えや照明器具の追加、柱巻き装飾の追加、大型テーブル及び椅子、展示パネルの設置を行うことで、若者が活動成果を発表し、寛げる魅力的な空間を創出した。	今回の改修に伴い、オープニングセレモニーや青少年センター事業の成果報告会をサロンで開催したことにより、若者の活動を幅広く見せる化することができた。	方向性	⑤完了

※方向性： ①拡大して実施（事業内容・規模の拡大） ②改善して実施（事業内容改善、効率化、効果向上） ③継続実施（同規模実施） ④縮小 ⑤完了